

森林・林業再生プラン実践事業の概要

持続的な森林経営と生産性の向上を目指し、全国5地区で、路網整備、先進林業機械の導入、搬出間伐等の実践的な取組を実施しました。



欧州フォレスターの指導



先進林業機械の導入



簡易で丈夫な道づくり



生産性の向上／生産コストの低減が実現され、森林・林業再生に向けた大きな一歩を踏み出しています。

北海道鶴居地区の事例

強力なウィンチを装備したトラクタを使用した作業システムを導入

- ・生産性11.2m³／人日
- ・生産コスト3,520円／m³

【参考】間伐・カラマツの全国平均
生産性4.55m³／人日
生産コスト7,857円／m³
※平成21年度素材生産費等調査



高知県香美地区の事例

タワーヤーダを使用した作業システムを導入

- ・生産性7.6m³／人日
- ・生産コスト4,670円／m³

【参考】間伐・スギの全国平均
生産性3.57m³／人日
生産コスト8,763円／m³
※平成21年度素材生産費等調査



北海道 鶴居地区	欧州の工法等を参考に路網整備し、ウィンチ付トラクタの作業システムを採用。間伐の繰り返しでカラマツ単層林を複層林・混交林へ誘導。
静岡県 富士地区	地形に応じ、タワーヤーダ、ウィンチ付トラクタの作業システムを採用。間伐を繰り返す長伐期施業による大径材生産等に取り組む。
広島県 西部地区	地形に応じ、タワーヤーダ、ウィンチ付トラクタの作業システムを採用。架線集材と列状間伐の組合せ、長伐期施業による大径材生産等に取り組む。
高知県 香美地区	急峻で複雑な地形に対応した路網整備、トラクタ牽引式のタワーヤーダの作業システムを採用。長伐期施業による大径材生産等に取り組む。
宮崎県 椎葉地区	欧州の工法等を参考に路網整備し、ウィンチ付スキッドによる作業システムを採用。長伐期施業による大径材生産等に取り組む。

フォレスターからの助言を受け、地域で議論を重ねて事業を進めました。



選木方法の指導



路網作設の指導



現地での意見交換



ギンター・ゾンライトナー
元オシアハ林業学校
校長



カール・コルブ
現シュベービッシュ・ハル郡
森林署 森林官



ペーター・ヴァインフルター
元オーストリア国有林・技術
部長、博士



ミハエル・ランゲ
現エムデンゲン郡
森林署 森林官